

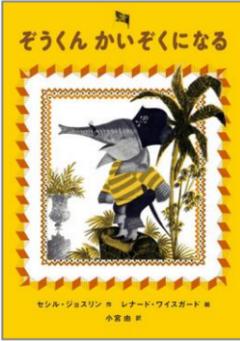
『タケシのせかい』  
室井 滋/文 長谷川 義史/絵 (アリス館) 1,650 円

タケシは、おとうさんのへやにある ひみつのはこをこっそりあけてしまいました。はこのなかには、てがみとドクロマークがかかれたちいさなビンが…。てがみにかかれた しつもんにこたえるうちに、タケシは ひとそれぞれじぶんのせかいがあることにきづきます。



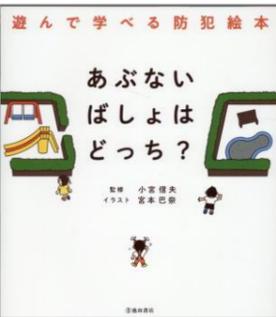
『クジラがしんだら』  
江口 絵理/文 かわさき しゅんいち/絵  
藤原 義弘/監修 (童心社) 1,980 円

ふかく、くらい、海の底へ一生をおえたクジラがしずんできました。すると、さまざまな生きものたちがクジラによってきて…。クジラの大きなからだはどうなるのでしょうか。海の底でおこる、いのちのつながりの物語。



『ぞうくん かいぞくになる』  
セシル・ジョスリン/作 レナード・ワイスガード/絵  
小宮 由/訳 (出版ワークス) 1,760 円

なつやすみをかぞくといっしょにスペインですぞうくん。おてつだいさんからもらった宝の地図を手にお宝探しに出発!  
どんなお宝が見つかるかな。



『あぶないばしょはどっち? 遊んで学べる防災絵本』  
小宮 信夫/監修 宮本 巴奈/イラスト  
(池田書店) 1,650 円

あっ、あぶない! しらないひとにつれていかれそうだったよ! ここ、あんぜんじゃないの? あのひと、ふつうのひとにみえたよ。じゃあ、あんぜんじゃないばしょって、どんなところ? おやこでいっしょに見てみよう!



『やくそく ぼくらはぜったい戦争しない』  
那須 正幹/作 武田 美穂/絵 (ポプラ社) 1,980 円

ひとりっこのぼくに、まい朝「にいちゃんいつてらっしゃい!」というおばあちゃん。おばあちゃんのことは大好きだけど、ちょっとしんぱい。どうしてぼくのこと「にいちゃん」ってよぶのかな? それは「せんそう」のせいなの?



なつやすみ

令和7年7月

# よんでみたいな、こんなほん

時津町立小学校図書館・時津町立時津図書館 司書推薦図書  
※税込価格



『ほうさんちゅう ちいさなふしぎな生きもののかたち』  
松岡 篤/監修 かんちく たかこ/文  
(アリス館) 1,540 円

「ほうさんちゅう」とは、5おく年も前から海の中でくらし、いるとても小さな生きものです。ガラスの骨でできていて、ロケット、まき貝、スポンジ…いろいろな形をしています。このふしぎな小さな生きものをのぞいてみませんか?



『RED あかくてあおいクレヨンのはなし』  
マイケル・ホール/作 上田 勢子/訳  
(子どもの未来社) 1,870 円

見ためとなかみがちがうって、どういうことでしょう? この本では、なかみが青色の「レッドくん」が、ほんとうの自分ていいんだと気づくまでの物語です。まわりのおともだち友達のやさしさと気づきにハッとさせられます。



『きみは、ぼうけんか』  
シャフルザード・シャフルジェルディー/文  
ガザル・ファトゥラヒー/絵 愛甲 恵子/訳  
(ブロンズ新社) 1,540 円

戦火の中、「ぼうけんか」は進む。進めば進むほど、ぼうけんは大変になった。そして、行き着いた先は…。今、この時も世界中のどこかで戦争の中で生きている子どもたちがいる。



『うせものがかり なくしたものの、見つけます』  
ほしお さなえ/作 pon-marsh /絵  
(ポプラ社) 1,540 円

まゆが転校してきたクラスには、いつも一人のつぐみがいる。うわさ話ではとても探し物がうまいらしい。ある日飼った犬がにげてしまい、こまったまゆはつぐみのところへ。つぐみは、「今からすることはだれにも言わないでね」と…。



『煙のように消えるねこ』  
リンダ・ニューベリー/作 田中 薫子/訳  
丹地 陽子/絵 (徳間書店) 1,650 円

サイモンは、家族で古いおうちにひっこしてきました。ある日、サイモンにはおとなりの庭に、おばあさんやねこがいるのが見えたのですが、ほかの人には見えていない? それってもしかして…



『ぼくは川のようにはなす』  
ジョーダン・スコット/文 シドニー・スミス/絵  
原田 勝/訳 (偕成社) 1,760 円

うまく言えない音がある僕は、学校でも話せず落ち込んでいた。そんな時、お父さんは僕を川へ連れて行き、そっと声をかけてくれる。吃音に悩む少年の心をあたたかな言葉と美しい絵で描いた、胸にひびく絵本。



『クジラの進化』  
水口 博也/文 小田 隆/絵 木村 敏之/監修  
(講談社) 2,090 円

ヒトと同じ哺乳類で、ヒトよりはるかに大きなカラダをもつクジラは、どのようにして今の姿になったのでしょうか。約5000万年前までさかのぼり、クジラの進化をたどっていきます。



『ガリバーのむすこ』  
マイケル・モーパーゴ/作 杉田 七重/訳  
(小学館) 1,650 円

アフガニスタンの平和な片田舎に住んでいたオマール。ある日戦争がやってきて父と妹がいなくなった。生き残ったぼくと母は難民となり、イギリスに住むおじさんを目指す。でもボートが壊れ…気づくとオマールはかつてガリバーがいた小人の国に流れ着いていた。



『夜光貝のひかり』  
遠藤 由実子/作 げみ/装画 (文研出版) 1,540 円

夢をあきらめた少年・彼方は、夏休みに訪れた奄美大島で、幽霊少女・ルリと出会う。ルリの記憶を探すなかで、島の美しい自然や戦争の傷あとにふれ、二人は大切なものを見つけていく。小6男子のひと夏の成長物語。



『マンガでわかる! 小学生のための「やりたいこと」の見つけ方』  
茂木 健一郎/監修 ぽぽこ/漫画  
(主婦と生活社) 1,540 円

「脳が喜ぶこと」—— それは楽しいこと。つまりそれがやりたいこと。でもどうやって見つけるの? 将来何になりたい? と聞かれて、答えに困る人、必見!